

第7章：リモート アクセス ソリューションの管理

演習 A：DirectAccess の実装

練習 1：DirectAccess サーバーの構成

▶ 作業 1：DirectAccess サーバーを構成する

1. LON-RTR で、ユーザー名「Adatum¥Administrator」、パスワード「Pa\$\$w0rd」を使用してサインインします。
2. [スタート] を右クリックし、[ネットワーク接続] をクリックします。
3. ネットワーク接続ウィンドウで、[イーサネット] ネットワーク アダプターを無効にし、再び有効にします。
4. ネットワーク接続ウィンドウで、[インターネット] ネットワーク アダプターを無効にし、再び有効にします。
5. ネットワーク接続を閉じます。
6. サーバー マネージャーを開き、[ツール]、[リモート アクセス管理] の順にクリックします。
7. リモート アクセス管理コンソールで、[構成] の [DirectAccess と VPN] をクリックし、[作業の開始ウィザードを実行する] をクリックします。
8. [リモート アクセスの構成] ページで、[DirectAccess のみを展開します] をクリックします。
9. [エッジ] が選択されていることを確認し、[クライアントからリモート アクセス サーバーへの接続に使用するパブリック名または IPv4 アドレスを入力してください] に「131.107.0.2」と入力して、[次へ] をクリックします。
10. [リモート アクセスの構成] ページで、[ここ] リンクをクリックします。
11. [リモート アクセスの確認] ページで、2 つのグループ ポリシー オブジェクト (GPO) が作成されたことを確認します。
 - DirectAccess サーバーの設定
 - DirectAccess クライアントの設定
12. リモート クライアントの [変更] をクリックします。
13. リモート アクセスのセットアップウィンドウで、[Domain Computers (ADATUM¥Domain Computers)]、[削除]、[追加] の順にクリックします。
14. グループの選択ウィンドウで「DA_Clients」と入力し、[OK] をクリックします。
15. [モバイル コンピューターに対してのみ DirectAccess を有効にする] チェック ボックスをオフにし、[次へ] をクリックします。
16. [DirectAccess クライアントのセットアップ] ページの [DirectAccess 接続の名前] ボックスで、既存の語句に「Windows 10」を追加し「Windows 10 職場の接続」となるようにして、[完了] をクリックします。
17. [リモート アクセスの確認] ページで、[OK] をクリックします。
18. [リモート アクセスの構成] ページで、[完了] をクリックし、DirectAccess ウィザードを終了します。
19. [作業の開始ウィザードの設定を適用しています] ダイアログ ボックスで、[閉じる] をクリックします。
20. タスク バーで、[Windows PowerShell] アイコンをクリックします。

21. Windows PowerShell ウィンドウで、次のコマンドレットを入力し、Enter キーを押します。

```
Restart-Computer
```

結果：この練習により、DirectAccess サーバーを構成することができました。

練習 2：DirectAccess クライアントの構成

▶ 作業 1：グループ ポリシー設定を検証する

1. LON-CL1 で、ユーザー名「Adatum¥Administrator」、パスワード「Pa\$\$w0rd」を使用してサインインします。
2. DirectAccess サーバーを構成すると、ウィザードにより 2 つのグループ ポリシーが作成され、ドメインにリンクされます。それらを適用するために、LON-CL1 を再起動し、ユーザー名「Adatum¥Administrator」、パスワード「Pa\$\$w0rd」を使用してサインインします。
3. LON-CL1 で、[検索] ボックスに「cmd」と入力し、Enter キーを押します。
4. コマンド プロンプトで、次のコマンドを入力し、Enter キーを押します。

```
gpupdate /force
```

5. 次のコマンドを入力し、Enter キーを押します。

```
gpresult /R
```

6. コマンドが生成する結果を確認します。[コンピューター設定] セクションで、DirectAccess クライアントの設定 GPO が適用されていることを確認します。



注：DirectAccess クライアントの設定 GPO が適用されていない場合、LON-CL1 を再起動し、LON-CL1 で手順 2 ～ 5 を繰り返します。

7. 次のコマンドを入力し、Enter キーを押します。

```
netsh name show effectivepolicy
```

8. [有効な DNS 名前解決ポリシー テーブルの設定] というメッセージが表示されることを確認します。



注：このコンピューターが社内ネットワーク内部にある場合、DirectAccess の設定は無効になります。

▶ 作業 2：内部接続を検証する

1. LON-CL1 に切り替えます。
2. [検索] ボックスに「iexplore」と入力し、Enter キーを押します。
3. アドレス バーに「http://lon-dc1.adatum.com」と入力し、Enter キーを押します。LON-DC1 の既定のインターネット インフォメーション サービス (IIS) Web ページが表示されます。
4. Internet Explorer を閉じます。
5. タスク バーで、[エクスプローラー] アイコンをクリックします。

6. エクスプローラーのアドレス バーに「¥¥LON-DC1¥¥Labfiles」と入力し、Enter キーを押します。フォルダーの内容にアクセスできることを確認します。
7. [検索] ボックスに「cmd」と入力し、Enter キーを押します。
8. コマンド プロンプトで、次のコマンドを入力して Enter キーを押し、結果を読みます。

```
ipconfig
```

ISATAP トンネル アダプターのメディアが切断状態であることを確認します。

9. 開いているウィンドウをすべて閉じますが、サインアウトしないでください。

結果: この練習により、DirectAccess クライアントを構成することができました。

練習 3 : リモート接続の検証

▶ 作業 1 : 外部の場所からリソースへのアクセスを確認する

クライアントをイントラネットからパブリック ネットワークへ移動する

1. LON-CL1 で、[スタート] を右クリックし、[ネットワーク接続] をクリックします。
2. [イーサネット] を右クリックし、[無効にする] をクリックします。
3. [イーサネット 2] を右クリックし、[有効にする] をクリックします。
4. [イーサネット 2] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
5. [イーサネット 2 のプロパティ] ダイアログ ボックスで、[インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)] をダブルクリックします。
6. [インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ] ダイアログ ボックスで、次の内容が表示されることを確認し、[OK] をクリックします。
 - IP アドレス : 131.107.0.20
 - サブネット マスク : 255.255.255.0
 - 優先 DNS サーバー : 131.107.0.100
7. [イーサネット 2 のプロパティ] ダイアログ ボックスで、変更がなければ [キャンセル] をクリックし、変更があった場合は [OK] をクリックします。
8. [ネットワーク接続] ダイアログ ボックスを閉じます。

パブリック ネットワークから内部ネットワーク リソースへの接続を確認する

1. [検索] ボックスに「iexplore」と入力し、Enter キーを押します。
2. アドレス バーに「http://lon-dc1.adatum.com」と入力し、Enter キーを押します。LON-DC1 の既定のインターネット インフォメーション サービス (IIS) Web ページが表示されます。
3. Internet Explorer を閉じます。
4. タスク バーで、[エクスプローラー] アイコンをクリックします。エクスプローラーのアドレス バーに「¥¥LON-DC1¥¥Labfiles」と入力し、Enter キーを押します。フォルダーの内容にアクセスできることを確認します。

DirectAccess サーバーへの接続を確認する

1. [検索] ボックスに「cmd」と入力し、Enter キーを押します。
2. コマンド プロンプトで、次のコマンドを入力し、Enter キーを押します。

```
Netsh name show effectivepolicy
```

3. [有効な DNS 名前解決ポリシー テーブルの設定] に、adatum.com と Directaccess-NLS.Adatum.com の 2 つのエントリがあることを確認します。
4. [検索] ボックスに「PowerShell」と入力し、Enter キーを押します。
5. Windows PowerShell ウィンドウで、次のコマンドレットを入力し、Enter キーを押します。

```
Get-DAClientExperienceConfiguration
```

6. DirectAccess クライアントの設定を確認します。
7. スタート メニューで [設定] アプリを開きます。[ネットワークとインターネット] を参照し、コンソール ツリーで [DirectAccess] を選択します。青いアイコンと [Windows 10 職場の接続] が表示されます。これは、練習 1、作業 1 の作業の開始ウィザードで [DirectAccess 接続の名前] に入力した名前です。
8. 開いているウィンドウをすべて閉じます。

DirectAccess サーバーへのクライアント接続を確認する

1. LON-RTR に切り替え、ユーザー名「Adatum¥Administrator」、パスワード「Pa\$\$w0rd」を使用してサインインします。
2. サーバー マネージャーを開き、[ツール]、[リモート アクセス管理] の順にクリックします。
3. リモート アクセス管理コンソール ウィンドウで、[リモート クライアントの状態] をクリックします。6to4 および IPHttps 経由でクライアントが接続されていることを確認します。接続の詳細ウィンドウの右下隅で、Kerberos プロトコルがコンピューターとユーザーの認証に使用されていることを確認します。
4. 開いているウィンドウをすべて閉じます。

結果: この練習により、DirectAccess によるリモート接続を検証することができました。

▶ 次の演習の準備をする

演習が完了したら、仮想マシンを初期状態に戻します。

1. ホスト コンピューターで、Hyper-V マネージャーを起動します。
2. [仮想マシン] リストで、[23697-2B-LON-DC1] を右クリックし、[戻す] をクリックします。
3. [仮想マシンを戻す] ダイアログ ボックスで、[戻す] をクリックします。
4. 23697-2B-LON-RTR、23697-2B-INET1、23697-2B-LON-CL1 に対して、手順 2 ～ 3 を繰り返します。

演習 B : Microsoft Azure RemoteApp の構成

練習 1 : RemoteApp コレクションの作成

▶ 作業 1 : RemoteApp コレクションを作成する

1. LON-CL4 で、ユーザー名「Admin」、パスワード「Pa\$\$w0rd」を使用してサインインします。
2. タスク バーで、[Microsoft Edge] アイコンをクリックします。
3. Microsoft Edge の [検索] ボックスに「https://manage.windowsazure.com」と入力し、Enter キーを押します。
4. 第 5 章で作成した Azure 評価版サブスクリプションアカウントとパスワードを使用して、Azure ポータルにサインインします。
5. Azure ポータルのナビゲーション ウィンドウで下にスクロールし、[REMOTEAPP] をクリックします。
6. 詳細ウィンドウで、[REMOTEAPP コレクションの作成] をクリックします。
7. 新規ウィンドウの詳細ウィンドウで、[簡易作成] が選択されていることを確認します。[名前] ボックスに「RA236972B」と入力し、[リージョン] ドロップダウン リストでリージョンを選択し、[プラン] ドロップダウン リストで、[Basic] と表示され、[テンプレート イメージ] が [Office Professional Plus 2013 (30-day trial)] であることを確認して、ページの下部の [REMOTEAPP コレクションの作成] をクリックします。



注: サインインしている Azure アカウントが受講者の個人的なアカウントで、その Azure アカウントにリンクされている Office 365 のアカウントがある場合、評価版アカウントではなく Office 365 のアカウントを使用します。

8. remoteapp ウィンドウの [状態] 列で、RA236972B RemoteApp がプロビジョニング中であることを確認します。これには、約 1 時間かかります。
9. RemoteApp のプロビジョニングが進行している間、練習 3、作業 1 に進んで、その作業を完了することができます。完了したら、この作業に戻り、次の手順を実行します。
10. [状態] 列がプロビジョニング中からアクティブに変わったら、[名前] 列の [ra236972b] をクリックします。[ra236972b] ページが開きます。
11. Microsoft Edge を開いたままにします。

結果: この練習により、Azure RemoteApp コレクションを作成することができました。

練習 2 : Azure RemoteApp によるアプリケーションの発行

▶ 作業 1 : アプリケーションを発行してユーザー アクセスを構成する

1. LON-CL4 の Microsoft Edge で、[ra236972b] ページを開き、詳細ウィンドウの [RemoteApp プログラムの発行] セクションを確認します。そのセクションの [remoteapp プログラムの発行] リンクをクリックします。
2. RemoteApp プログラムの選択ウィンドウで、[Adobe Reader XI] と [OneDriveBusiness] チェック ボックスをオンにし、右下の [完了] アイコンをクリックします。
3. [RemoteApp コレクションが作成されました] メッセージが表示されたら、[RemoteApp プログラムの発行] セクションの [ユーザー アクセスの構成] リンクをクリックします。

4. タスク バーで、[エクスプローラー] アイコンをクリックします。
5. エクスプローラーで、[クイック アクセス] の [ドキュメント] をクリックします。
6. 詳細ウィンドウで、[User1Creds.txt] ファイルをダブルクリックします。
7. User1 のユーザー プリンシパル名 (UPN) を右クリックし、[コピー] を選択します。
8. Microsoft Edge に戻り、[ユーザー名の入力] ボックスを右クリックし、[貼り付け] を選択します。ボックスの右側に緑色のチェック マークが表示されます。画面下部の [保存] アイコンをクリックします。
9. 左上の [戻る] アイコンをクリックします。
10. remoteapp ウィンドウの [名前] 列で、[ra236972b] をクリックします。



注: [リモート デスクトップ クライアントのダウンロード URL] セクションを確認します。URL が表示されたボックスがあります。このボックスの右側の [コピー] アイコンも確認します。RemoteApp ユーザーが Azure デスクトップ クライアントをダウンロードし、RemoteApp プログラムを実行できるように、この URL をコピーし、RemoteApp ユーザーに電子メールまたは送信することができます。

結果: この練習により、Azure RemoteApp を使用して、アプリを発行することができました。

練習 3: リモート接続の検証


▶ 作業 1: サンプル ユーザーを作成する

1. Azure ポータルのナビゲーション ウィンドウで下にスクロールし、[ACTIVE DIRECTORY] アイコンをクリックします。
2. Active Directory 詳細ウィンドウで、[名前] 列の Active Directory 名をクリックします。
3. 詳細ウィンドウで、[ユーザー] 列をクリックします。
4. ページの下部のバーで、[ユーザーの追加] アイコンをクリックします。3 ページから成るユーザーの追加ウィンドウが開きます。
5. [このユーザーに関する情報の入力] ページで、[ユーザーの種類] ドロップダウン リストに [組織内の新しいユーザー] と表示されていることを確認します。[ユーザー名] ボックスに「User1」と入力し、右下の [次へ] アイコンをクリックします。
6. [ユーザー プロファイル] ページで、[名] ボックスに「User」、[姓] ボックスに「1」、[表示名] ボックスに「User1」と入力します。[ロール] ドロップダウン リストで、[ユーザー] と表示されていることを確認し、右下の [次へ] アイコンをクリックします。
7. [一時パスワードの取得] ページで、[作成] をクリックします。[新しいパスワード] ボックスに User1 のパスワードが表示されていることを確認します。その右側にある [コピー] アイコンをクリックします。
8. タスク バーの [検索] ボックスに「メモ帳」と入力し、Enter キーを押して、メモ帳を開きます。
9. メモ帳で、何も表示されていない場所を右クリックし、[貼り付け] をクリックして、Enter キーを押します。メモ帳を開いたまま、タスク バーの [Edge] アイコンをクリックします。右下の [完了] アイコンをクリックします。
10. 詳細ウィンドウで、作成した User1 アカウントを確認します。User1 の [ユーザー名] 列に表示されている、完全な UPN を右クリックし、[コピー] をクリックします。

11. メモ帳に戻り、パスワードの直下の行を右クリックして、[貼り付け] をクリックします。
12. メモ帳で、[ファイル]、[名前を付けて保存] の順にクリックします。[名前を付けて保存] ダイアログボックスで、[ファイル名] ボックスに「User1Creds.txt」と入力し、[保存] をクリックします。メモ帳を閉じます。
13. Azure ポータルのナビゲーション ウィンドウで下にスクロールし、[REMOTEAPP] アイコンをクリックします。
14. 必要に応じて、練習 1、作業 1 に戻り、プロビジョニングが完了していることを確認します。

▶ 作業 2 : リモート デスクトップ クライアントをダウンロードしてリモート接続を確認する

1. LON-CL4 で、開いているウィンドウをすべて閉じ、タスク バーの [Microsoft Edge] アイコンをクリックします。
2. Microsoft Edge で、[検索] ボックスに「<https://www.remoteapp.windowsazure.com>」と入力し、Enter キーを押します。
3. Microsoft Edge の [Azure RemoteApp] ランディング ページで、[クライアントのインストール] をクリックします。
4. [Microsoft Azure RemoteApp] セクションで、[Windows 用「RemoteApp」クライアントのダウンロード] をクリックします。
5. アプリケーションのインストール – セキュリティの警告ウィンドウで、[インストール] をクリックします。
6. Azure RemoteApp ウィンドウで、[開始する] をクリックします。
7. [電子メール アドレスまたは電話番号] ボックスに、User1Cred.txt ドキュメントの UPN を入力するか、または UPN をコピーして、ここに貼り付けます。

 **注:** エクスプローラーのドキュメント フォルダー内に User1Cred.txt ドキュメントがあります。ダブルクリックしてファイルを開きます。終了したら閉じます。

8. [パスワード] ボックスに、User1Cred.txt ドキュメントの一時パスワードを入力するか、または UPN をコピーしてここに貼り付け、[サインイン] をクリックします。
9. パスワードの更新ウィンドウが開きます。[現在のパスワード] ボックスに、一時パスワードを入力し、[新しいパスワード] と [パスワードの確認入力] ボックスに「Pa\$\$w0rd」と入力して、[パスワードを更新してサインイン] をクリックします。
10. Azure RemoteApp ウィンドウで、RemoteApp アイコンが使用可能であることを確認します。[Adobe Reader X1] アイコンをダブルクリックします。
11. 数分で Adobe Reader が起動します。使用許諾契約のページが表示されるまで、待機します。それ以上進める必要はありません。[同意しない] をクリックし、[終了] をクリックします。
12. スタート メニューで [すべてのアプリ] をクリックします。新しい項目の Azure RemoteApp があることを確認します。
13. 開いているウィンドウをすべて閉じ、サインアウトします。

結果: この練習により、クライアント コンピューターで Azure RemoteApp の実行を検証することができました。

▶ 次の章の準備をする

演習が完了したら、仮想マシンを初期状態に戻します。

1. ホスト コンピューターで、Hyper-V マネージャーを起動します。
2. [仮想マシン] リストで、[23697-2B-LON-DC1] を右クリックし、[戻す] をクリックします。
3. [仮想マシンを戻す] ダイアログ ボックスで、[戻す] をクリックします。
4. 23697-2B-LON-CL4 に対して、手順 2 ～ 3 を繰り返します。